

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート

No.3-2

PDCA

主要事業名

シティブロモーション推進事業

部課名

企画部企画課

担当

杉浦

内線

227

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：5 - 1 - 1 単位施策：情報共有

全体事業期間：令和4年度～4年度 全体事業費等：4,914千円

会計 一般会計 歳出科目：02.01.06.10.50

事業概要等

事業概要：本市の都市イメージや認知度の向上を図るとともに、市民のまちへの愛着や誇りの醸成を図り、本市のファンを増やし、定住人口の獲得を目指す。

事業目的：都市イメージの向上を図るため、半田の魅力を発信するとともに、市民の愛着の醸成を図るための施策を展開し、定住人口の増加を目指す。

事業内容：情報発信事業（専用サイトの運用等）、まちへの愛着を醸成するための事業（まちの魅力発見ツアー等）、ふるさと新発見事業の実施。

問題点・課題等：すぐに効果が表れる取組ではないが、行政、市民・事業者が一体となって推進できる体制を整備するとともに、長期的な視点で取り組む必要がある。

予算額

4,914千円

財源内訳

市費2,596千円

国費2,318千円

県費0千円

その他0千円

主要事業とする理由

市内外にまちの魅力を発信することで、市外から人を呼び込むとともに、市民に住み続けてもらうことが重要であるため。

得られる成果

市内外にまちの魅力を発信することで、市外から人を呼び込むとともに、市民のまちへの誇りや愛着を醸成し、半田市に住み続けてもらうことで定住人口の確保につながる。

目標値や目指すべき状態

令和2年度

令和3年度

令和4年度

単位

これからも住み続けたいと答えた市民の割合(39歳以下)

実績値

50.8

52.3

—

%

目標値

70.0

70.0

70.0

%

実績値

目標値

実績値

目標値

D

実績値れた成果と

決算額

4,459千円

市費

2,162千円

国費2,297千円

県費0千円

その他0千円

得られた成果

市内外にまちの魅力を発信することが、市民の自分の住むまちへの誇りや愛着の醸成につながるとともに、今後の移住定住に向けて本市のイメージ向上の一助となった。

成果指標

令和4年度

単位

これからも住み続けたいと答えた市民の割合（39歳以下）

実績値

45.4

%

目標値

70.0

%

C

課題の整理

事業の評価・課題

C

西三河地域を対象にした情報誌のインパクトある広報、若者世代などターゲットを絞った情報発信、地域資源をささえる「人」や「思い」を紹介する魅力発見ツアーを通して、成果指標の目標値を達成するなど、市のPRと市民の愛着醸成に資することができた。また、ツアー募集倍率10倍を超えるイベント企画など、市としての生活環境のブランド価値を高めることができた。

一方で、全国的な人口減少問題については本市も例外ではなく、特に日本人の転出超過が課題であることから、市内に通う高校生、大学生など若い世代をターゲットにしたプロモーションの強化や、マスメディアによる注目や関心を集める方法について考える必要がある。

A

課題後の決方向性

今後の事業の方向性

改善推進

シティブロモーションは、職員一人一人がその重要性を認識し、積極的に活動することが求められるため、庁内での意識啓発や職員研修も必要である。また、本事業はすぐに成果があらわれるものではなく、継続して実施することで半田市のイメージ向上やまちへの愛着醸成につながるものである。本市のファンを増やし、将来的な定住人口を獲得していくため、効果的な情報発信と愛着醸成を図る取組を継続的に実施していく。

観点別評価

必要性

有効性

効率性

①市の関与の妥当性

妥当

④上位施策への貢献

大きい

⑦コスト削減

ある

②市民ニーズ

高い

⑤成果向上の余地

ある

余地

※対象・手段の変更

③休廃止の影響

大きい

⑥類似事業の有無

ない

⑧受益者負担適正化余地

—